

希望

チューリッヒ日本人学校便り

平成 29 年 9 月 4 日発行

第 16 号

発行人 校長 鈴木史良

シュタイナーの4つの気質

—— 自分の中にまだまだ知らない自分がいる ——

9月1日（金）の全校朝礼で、シュタイナー教育で有名なルドルフ・シュタイナーの人間学から、人間のもつ4つの気質に関わる話をしました。本校は児童生徒による活動の中で、友達の見つけ、発表し合う活動を毎日の解散会のなかでおこなっています。毎日、その日に頑張ったこと、よいと思ったことなど、その日の発表者になった子どもからいろいろなことが発表されます。——それだけではなく、子どもたちはもっといろいろなよい面をもっているのに、そのよさにまだ自分で気づかず、発揮していないまま毎日を過ごしていることがありはしないだろうか。——との思いから、自分の中のまだ知らない自分がいるということに目を向け、自分や友達の良いところに気づくといいなとの期待を

込めて、この話をしたのです。次の2つの質問を用意し、答えはあとのA～Dの中から子どもたち個々の考えに最も近いものを1つずつ選んでもらいました。

質問1 道を歩いていると、壁につきあたってしまった。あなたならどうしますか。

- A すぐに引き返す。
- B じっと立ち止まったまま動かない。
- C その壁をけとばす。
- D その壁をのりこえて向こう側に行く。

質問2 ベンチにおいた帽子が隣に座った人の尻の下に。あなたならどうしますか。

- A 帽子がつぶされたことを悲しむ。
- B 何事もなかったように帽子をかぶる。
- C 隣に座った人に文句を言う。
- D ぺちゃんこの帽子を見て笑いだす。



子どもたちは素直に反応し、ときには笑い声をあげながらこの質問に答え、どの項目にも手が上がりました。そこで、シュタイナーは人間がだれでももつ気質を4つに分類したことを説明し、その特徴やよさを子どもたちに示しました。

質問1, 2ともに共通ですが、4つの選択肢の中からAを選択した子どもは『憂うつ質』、Bを選択した子どもは『粘液質』、Cを選択した子どもは『胆汁質』、Dを選択した子どもは『多血質』的傾向が見られると、シュタイナーは言っています。質問1, 2とも同じアルファベットを選択した子もいれば、1と2で違う子どももいました。数のうえからでは、質問1, 2とも違う選択をした子どもの方が圧倒的でした。人間それぞれいろいろな気質がまじり合っているのですから当然です。それでは、それぞれの気質にどんなよさが秘められているのでしょうか。

- 【憂うつ質】・注意力があり、物事に敏感。
 - ・独創的で、想像力豊か。
 - ・考え感じ、夢見ることを大切にする。
 - ・人の苦しみに深く同情できる。
- 【粘液質】・落ち着いて考える力があり、冷静。
 - ・待つことが得意で、いい機会を逃さない。
 - ・やる気を起こすと長続きする。
 - ・人の悪口を言わず、いやな思いをさせない。
- 【胆汁質】・意志が強く、行動力がある。
 - ・能力を認められると、集中力を発揮する。
 - ・すばやく物事を把握できる。
 - ・目標に全力で、最後までやり遂げる。
- 【多血質】・ほがらかで切り替えが早く、すばやい行動。
 - ・人当たりがよく、やさしい。
 - ・出来事に敏感で、すぐに興味をもつ。
 - ・同情心があり、奉仕することが好き。



子どもたちからは、自分が選択した気質の中に、これは自分にも当てはまっているという声が聞こえてきました。中には、この部分は自分とは全然違うという声もありました。それは自分のよさにまだ気づいていないだけで、自分の中には自分が知らないよさがあり、自分がこうなりたいと思う心が強ければ強いほどそのよさが現れてくるのだと説明しました。よさを磨こうと一生懸命頑張る子どもは、不思議によくないところもなおってくるものです。これを機会に、自分の気質について知り、伸ばしたいところ、こうなりたいと思っていることに積極的にチャレンジして行ってほしいと思います。2学期は大きく成長するチャンスです。

児童生徒による9月の生活目標

8月31日（木）の朝に、児童生徒朝会があり、気良美花（きらびか）委員会から9月の生活目標が発表されました。子どもたちのつくった目標は以下のとおりです。

『正しい言葉づかいを意識しよう』

その場に合った言葉づかいをする。

例・「です」「ます」をつかう。

・「くん」「さん」をつかう。

これから、みなこの目標を意識して、正しい言葉づかいをする子どもたちが増えてくるでしょう。朝会や朝礼の時、図書室前の廊下には、子どもたちのくつがたいへんきれいに並んでいます。いつも目にするたびにうれしくなります。

